



記者発表資料
 平成20年4月28日
 開港150周年・創造都市事業本部
 創造都市推進課担当課長
 日詰 雄治 TEL671-2277

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

今年の夏も、横浜に最先端のデジタル映像やコンテンツが大集結します！

エ イ ゾ ー ン
ヨコハマE I ZONE 2008
開 催 ！

横浜市では、文化芸術創造都市づくりの重点施策として、「映像文化都市づくり」を進めるとともに、横浜の開放的な文化と優れた都市景観などを活かしながら、創造的産業の中でも高い成長が見込める映像文化産業や教育機関の集積を目指しています。

「ヨコハマE I ZONE」は、市民が最新の映像作品に気軽に触れるとともに、国内トップクラスの業界関係者が集まり、映像文化産業における新しいマーケットの可能性などを探る機会として、2006年に第1回目を開催し、今年で3回目を迎えます。

第3回目となる「ヨコハマE I ZONE 2008」では、最先端のアニメ・CG・Flashなどのデジタルコンテンツを都心部の複数会場から発信するとともに、通常の展示にとどまらず、最先端の映像クリエイターによるトークショーや関連イベントも開催する予定です。

開催期間を通じて、一般の方々から専門家まで、触れて・見て・感じることで、最先端の映像を感動とともにお伝えします。横浜の特性を活かした映像産業の集積に向けた土壌づくりや「映像文化都市ヨコハマ」のより一層の定着を目指して、さらにパワーアップして開催します！

■期 日：平成20年7月24日（木）～7月29日（火）
 11：00～20：00 ※会場により異なります

■会 場：横浜赤レンガ倉庫1号館
 （予定）東京藝術大学大学院映像研究科 馬車道校舎／新港校舎
 Z A I M
 創造空間万国橋SOKO
 放送ライブラリー ほか（詳細裏面）

■入場料：無 料

■主 催：ヨコハマE I ZONE実行委員会
 （横浜市／NHK横浜放送局／財団法人横浜市芸術文化振興財団／株式会社NHKエンタープライズ）

■共 催：東京藝術大学大学院映像研究科

■後 援：経済産業省、文化庁、神奈川県、（財）デジタルコンテンツ協会、（財）CG-ARTS協会
 （予定）

横浜市は次のプロジェクトにより、文化・芸術による都市づくりを進めています。

ナショナルアートパーク構想 | 創造界隈の形成 | 映像文化都市 | 横浜トリエンナーレ | 創造の担い手育成

<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kaikou/souzou/index.html>

クリエイティブシティ

検索

ヨコハマ EIZONE2008 イベント概要・スケジュール

3回目の開催となる今年は、「横浜赤レンガ倉庫1号館」をメイン会場とし、「東京藝術大学大学院映像研究科の馬車道校舎/新港校舎」や「ZAIM」、「創造空間万国橋SOKO」、「放送ライブラリー」といったネットワーク会場とともに、様々な映像コンテンツを発信します。

■ 横浜赤レンガ倉庫1号館 「EIZONEショーケース」【メイン会場】

7月24日(木)～7月29日(火) 11:00～20:00

クリエイターや映像関連団体が多数出展。

Flash、アニメ、CG、WEB、インタラクティブアート作品など、高感度な映像、アート作品を上映・展示します。また、多彩なイベント、トークセッション、パフォーマンスなどを日替わりで展開します。

■ 東京藝術大学大学院映像研究科 馬車道校舎/新港校舎

馬車道校舎(映画専攻): 7月24日(木)～7月29日(火) 11:00～20:00

新港校舎(メディア映像専攻) 「OPEN STUDIO vol.6」

7月26日(土)～7月29日(火) 11:00～20:00

映像研究科の映画専攻、メディア映像専攻の学生による作品の上映や展示。



馬車道校舎 昨年度の様子

■ ZAIM 「ZAIMデジタルワークショップ」



「ZAIM」ワークショップ昨年度の様子

Flashアニメーション、インタラクティブ作品などのデジタルコンテンツを制作するワークショップを開催!



新港校舎 昨年度の様子

会場構成

<関連イベント>

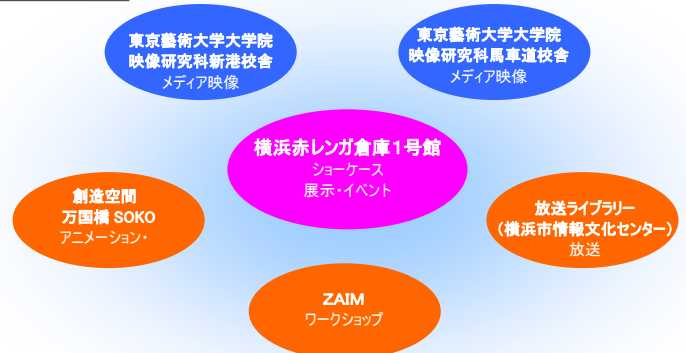
■ 創造空間 万国橋SOKO

詳細調整中

■ 放送ライブラリー

詳細調整中

上記会場、プログラム以外にも、さまざまなイベント、プログラム等を企画中です。



会場 MAP



メインプログラム

EIZONE ショーケース（横浜赤レンガ倉庫 1号館）

創造性、先進性、成長性に着目した、最先端デジタルコンテンツ作品の展示・上映、活動団体や企業の紹介の場としてショーケースを開催します。コンテンツだけでなく先端映像技術、通信、広告業界などの事例も紹介し、デジタルコンテンツの最新情報を発信していきます。展示・上映のほか、専門家から家族連れまでが楽しめるトークショーやパフォーマンスも開催します！

ブース プレゼンテーション

(2F)

エンタテインメント／デジタルアート／テクノロジーの3つの切り口からデジタルコンテンツや先端技術の最新情報を紹介します。特にキャンパス、アドバタイジングにスポットを当て、ユニークな取組みの数々を紹介します。



昨年度の様子

ステージ プレゼンテーション

(3F・ホール、2F・ミニシアター)

ショーケース参加クリエイター、団体によるプレゼンテーションやトークセッション、パフォーマンス、シンポジウムなどを日替わりで開催！



昨年度の様子

デジタルアートパーク

インタラクティブ、デジタルアート作品の展示、体験コーナー。デジタル技術を使ったライブパフォーマンスも開催します。



昨年度の様子

ワークショップ

ZAIMで行われる「ZAIMデジタルワークショップ」受講者の作品をショーケース会場で発表します。



昨年度の様子

屋外シアター

横浜赤レンガ倉庫屋外広場にシアターが登場！赤レンガ倉庫1号館の壁面に投影される巨大ビジョンやインタラクティブな体験映像をお楽しみ下さい！

公開番組

デジタルアートの若き才能を発掘する番組、NHK-BS2「デジタル・スタジアム」の公開収録を横浜赤レンガ倉庫3階からお届けします！



放送時間
NHK BS2 金曜 24:00～
NHK BShi 日曜 23:50～
(再放送 金曜 11:00～)

開催イメージ(昨年度の様子)



横浜赤レンガ倉庫 1号館



横浜赤レンガ倉庫 1号館



東京芸術大学大学院映像研究科 馬車道校舎
「Open Theater 2007」



東京芸術大学大学院映像研究科 新港校舎
「Open Studio vol. 4」



ZAIM
「デジタルワークショップ」



放送ライブラリー
「テレビの青春！昭和30年代番組展」



万国橋 SOKO 1F バンタンキャリアスクール SOCO 横浜
「Open Gallery」



万国橋 SOKO 2F NDC Graphics
「Blue Dal in Tokohama」



横浜開港 150 周年記念事業

《開港の街・横浜を世界のトップアスリートが駆け巡る》

2009横浜国際トライアスロン大会

2日間の
詳細日程・コース(案)決定 & 広報親善大使任命
横浜の歴史を感じる
リサ・ステッグマイヤーさん

- 横浜開港 150 周年記念事業として平成21年8月に開催する「2009 横浜国際トライアスロン大会」の日程の詳細と競技コースが決まりました。(資料1参照)
- 国内外のトライアスロン大会や横浜開港150周年記念イベントなど様々な機会
で広報し、大会機運を盛り上げていくために、タレントの
リサ・ステッグマイヤーさんを「2009横浜国際トライアスロン大会」広報親善
大使として任命します。

1 コースについて

スイム(水泳)は、山下公園前面海域。バイク(自転車)、ラン(ランニング)とも、山下公園をスタート・ゴール地点とし、開港広場や横浜三塔(キング：県庁、クイーン：横浜税関、ジャック：開港記念会館)などを巡る、開港の街・横浜の歴史を感じることの出来るコースを設定しました。

【別紙コースMAPを参照】

※ コースマップにつきましては、市民活力推進局説明資料に添付させていただきます。

◎ コース設定に係る考え方

- (1) 横浜開港 150 周年記念事業にふさわしいコース
スイムは、山下公園前面水域とし、バイク及びランのコースもスタートとゴールを山下公園とし、横浜開港にゆかりのある周回コースとしました。
- (2) 交通渋滞の抑制等市民生活に配慮したコース
国道133号(コンテナ通り)の横断をさけるとともに、できる限り交通閉鎖地域が発生することがないようにコースを設定しました。
また、競技を2日間に分け、いずれも午前中に競技を終了するよう配慮しました。
- (3) 選手や観客の安全に配慮したコース
比較的広い幅員と多くの方が楽しく観戦できるよう配慮しました。

2 広報親善大使

リサ・ステッグマイヤー



リサ・ステッグマイヤーさんは、日本トライアスロン連合事業広報委員として、トライアスロン競技を普及・啓発するために積極的に活動されています。

また、自らトライアスリートとして数多くの大会に参加され、トライアスロンを通じ、多くの方々と交流をされています。

略歴 1971年9月生まれ アメリカ出身
上智大学比較文化学科日本文化学科卒業
テレビ、ラジオ、CM出演のほか、執筆など幅広いタレント活動を行っている
2000年にトライアスロンレース初出場、以後、年間4~5レースに出場、すべてのレースで完走をはたしている
トライアスロンレースのベストレコードは2004年の2時間28分24秒

◎ 広報親善大使活動予定

- ・国内外で行われるトライアスロン大会での広報活動
- ・トライアスロン教室での広報活動
- ・広報大使本人が出演する番組や取材等での横浜大会PR
- ・開港150周年協会と連携した広報活動

＜資料1＞

◎ 競技日程等

イベント名称	開催日 平成21年	開催時間 (予定)	カテゴリー、対象年齢	人数 (予定)
世界こどもスポーツサミット in 横浜 (詳細調整中)	8月21日 (金曜日)	9:00~17:00	小・中学生を中心とした、 世界のこどもたち	800名 (国内500) 海外300
2009 横浜国際 トライアスロン大会	8月22日 (土曜日)	8:00~9:20	ユース女子 (14~18歳)	50名
		10:00~12:20	エリート女子 (19歳以上)	50名
	8月23日 (日曜日)	8:00~9:15	ユース男子 (14~18歳)	50名
		10:00~12:15	エリート男子 (19歳以上)	50名
世界キッズ トライアスロン大会	8月23日 (日曜日)	13:00~13:45	キッズ①男女 (6~9歳)	200~250名
		14:00~15:00	キッズ②男女 (10~13歳)	200~250名

◎ コース概要 (ユース・エリート)

種目・距離	コース距離・周回数	コース
<u>スイム (水泳)</u> ユース 0.75km エリート 1.5km	1周 0.75km ユース 1周 エリート 2周	山下公園前面海域
<u>バイク (自転車)</u> ユース 20km エリート 40km	1周 5km ユース 4周 エリート 8周	山下公園→山下公園通り→開港広場 (大棧橋入口) → 日本大通り→県庁前 (国道133号片側使用) →海岸 通り→万国橋→新港ふ頭 (新港パーク入り口折り返し) →赤レンガ倉庫前→新港橋→横浜税関前→海岸通 り→開港広場 (大棧橋入口) →山下公園
<u>ラン (ランニング)</u> ユース 5km エリート 10km	1周 2.5km ユース 2周 エリート 4周	山下公園→山下公園通り→開港広場 (大棧橋入口) → 日本大通り→県庁前 (国道133号片側使用) →横浜 税関前→新港橋折り返し→横浜税関前→海岸通り→ 開港広場 (大棧橋入口) →山下公園

◎ コース概要 (キッズ)

種目・距離	コース距離・周回数	コース
<u>スイム (水泳)</u> キッズ① 100m キッズ② 150m	キッズ① 1周 キッズ② 1周	山下公園前面海域
<u>バイク (自転車)</u> キッズ① 5,000m キッズ② 10,000m	1周 2,500m キッズ① 2周 キッズ② 4周	山下公園→山下ふ頭 (周回) →山下公園
<u>ラン (ランニング)</u> キッズ① 1,000m キッズ② 2,000m	1周 1,000m キッズ① 1周 キッズ② 2周	山下公園 (周回)

第20回全国「みどりの愛護」のつどい 横浜動物の森公園を会場に開催決定

第20回（平成21年）全国「みどりの愛護」のつどいが、横浜動物の森公園（よこはま動物園ズーラシア未整備地区）を会場に開催されることが、国土交通大臣より決定されましたのでお知らせします。

- 1 主催（予定） 第20回全国「みどりの愛護」のつどい実行委員会
(国土交通省、神奈川県、横浜市、(財)公園緑地管理財団)
- 2 後援（予定） 全国知事会、全国市長会、全国町村会
- 3 開催日（予定） 平成21年度の「みどりの月間(4月15日～5月14日)」のうちの1日
- 4 会 場 横浜動物の森公園（横浜市旭区上白根町1145-3）
- 5 行事内容
 - ・式典
 - ・「みどりの愛護」功労者表彰
 - ・記念植樹 等
- 6 行事参加者 約1,500名（予定）
全国みどりの愛護団体関係者、緑化関係団体、
関係機関職員、その他

『全国「みどりの愛護」のつどい』の概要

わが国は、四季折々の緑豊かな自然に恵まれた国であり、人々は、古くから自然を愛し崇敬し、長い歴史のなかで数々の優れた文化を育んできました。この貴重な緑を守り育て親しむとともに、その恩恵に感謝し、豊かな心を育むことを願って、平成2年から全国「みどりの愛護」のつどいが開催されています。

平成21年度においても、全国の公園緑地の愛護団体、河川等の愛護や道路愛護活動を通じ緑の保護育成を行っている団体、地域の緑化・緑の保全団体等の緑の関係者が一堂に集い、「みどりの日」の制定の趣旨を踏まえて、広く都市緑化意識の高揚を図り、緑豊かな潤いのある住み良い環境づくりを推進するため、第20回全国「みどりの愛護」のつどいを開催するものです。

《過去の開催状況》

開催年	主催	開催日	会場
第1回(平成2年)	大阪府、大阪市	4月23日(月)	国際花と緑の博覧会会場
第2回(平成3年)	埼玉県、東松山市、熊谷市 滑川町	4月24日(水)	国営武蔵丘陵森林公園
第3回(平成4年)	宮城県、仙台市、川崎町	4月25日(土)	国営みちのく杜の湖公園
第4回(平成5年)	福岡県、福岡市	4月29日(木)	海の中道海浜公園
第5回(平成6年)	奈良県、橿原市、明日香村	4月23日(土)	国営飛鳥歴史公園
第6回(平成7年)	岐阜県、大垣市、海津町、平田町 南濃市、(財)河川環境管理財団	4月27日(木)	国営木曾三川公園
第7回(平成8年)	北海道開発庁、北海道、札幌市	6月5日(水)	滝野すずらん丘陵公園
第8回(平成9年)	茨城県、ひたちなか市、東海村	4月26日(土)	国営常陸海浜公園
第9回(平成10年)	広島県、庄原市	4月23日(木)	国営備北丘陵公園
第10回(平成11年)	東京都、立川市、昭島市	4月28日(水)	国営昭和記念公園
第11回(平成12年)	香川県、満濃町	4月29日(土)	国営讃岐まんのう公園
第12回(平成13年)	沖縄県、那覇市、本部町 (財)海洋博覧会記念公園管理財団	4月22日(日)	国営沖縄記念公園
第13回(平成14年)	新潟県、長岡市	4月27日(土)	国営越後丘陵公園
第14回(平成15年)	兵庫県、神戸市、淡路町、東浦町	4月26日(土)	国営明石海峡公園
第15回(平成16年)	佐賀県、神埼町、三田川町 東背振村	4月24日(土)	国営吉野ヶ里歴史公園
第16回(平成17年)	大阪府、大阪市、高槻市、枚方市 (財)河川環境管理財団	4月23日(土)	淀川河川公園
第17回(平成18年)	愛知県、名古屋市、一宮市 (財)河川環境管理財団	4月22日(土)	国営木曾三川公園
第18回(平成19年)	長野県、松本市、大町市 安曇野市、松川村	6月2日(土)	国営アルプスあづみの公園

《今後の開催予定》

開催年	主催	開催日	会場
第19回(平成20年)	山口県、山口市	4月19日(土)	山口県立維新百年記念公園

主催者には各年とも国土交通省(当時建設省)、(財)公園緑地管理財団を含む。

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

YOKOHAMA
MARINE TOWER

横浜開港150周年記念事業 「横浜マリンタワー」の外観をリニューアル!

タワーの色を「シルバー」を主体に、
内側は「ブラウンオリーブ」とします。

【色彩の経緯】

- ・昭和36年 開業、赤白7等分の塗りわけ。
- ・平成元年 横浜博覧会を機に赤から白のグラデーションに変更、現在に至る。

【変更理由】

横浜マリンタワーは開港150周年に向けて再整備を進めており、新たに生まれ変わることを外観でも表現するため、タワーの色を変更します。

【色彩の考え方】

- ・関内地区の街並みとの調和を考慮し、鮮やかな色は避ける。
- ・山下公園通りの街路樹などと調和し、上層部を見上げたときの存在感を表現する。
- ・リニューアルを機に、鉄骨が織り成す構造の美しさや、鉄という素材が持っている力を表現する。

【検討経緯】

「白」「シルバー」「ブラウンオリーブ」を中心に検討を重ね、都市美対策審議会でもいただいた意見を参考に決定しました。

※ブラウンオリーブ:茶色みがかったオリーブ(緑)色

なお、1階から4階の低層部に関しては、山下公園通り側は、透明感と開放感のあるガラス素材で囲むこととし、また、水町通り側は従来の外観を残すこととします。

【今後の予定】

- ・平成20年 6月 塗装工事着手
- ・平成21年 3月 改修工事完了
- ・平成21年 春 リニューアルオープン

【全体イメージ】



【塔体部イメージ】



【問い合わせ先】 横浜市経済観光局事業調整課 TEL 045-671-4079 FAX 045-661-0692

E-mail ke-marinetower@city.yokohama.jp

<http://www.city.yokohama.jp/me/keizai/kankou/zigyo/marine.html>

日本丸メモリアルパークのシンボルマーク、横浜マリタイムミュージアムの新名称の 「意見募集」を行います！

横浜マリタイムミュージアムや帆船日本丸のある日本丸メモリアルパーク第1期地区(裏面参照)について、開港150周年の21年度にリニューアルオープンすべく整備事業(平成19年度は設計)を進めているところです。

日本丸メモリアルパークを「横浜港をテーマとしたフィールドミュージアム」と位置づけ、中核施設である横浜マリタイムミュージアムを「横浜港を知り、考え、楽しむことができる市民のための博物館」としてリニューアルします。展示のテーマは「歴史と暮らしのなかの横浜港」で150年の通史と「港運」や「築港」など6つのテーマ展示から構成されています。

また、日本丸メモリアルパーク第1期地区では、アプローチ空間の刷新や屋外展示物の魅力的な演出などを行ってまいります。(なお、第2期地区についても同様のコンセプト「横浜港をテーマとしたフィールドミュージアム」で整備予定です。)

このリニューアルを機に皆様の御意見等をお聞きしながら日本丸メモリアルパーク(第1、2期地区を含む全体)のシンボルマークと、横浜マリタイムミュージアムの新名称を決定していくことになりました。なお、決定したシンボルマークについては、パーク内の施設全体で使用していきます。

つきましては、広く皆様からシンボルマーク及び新名称について意見募集を行います。

《意見募集の概要》

1 募集期間

平成20年1月22日(火)から平成20年2月11日(月・祝日)まで

2 募集概要

【募集内容】

- (1)日本丸メモリアルパークのシンボルマーク候補3案から1つを選んでいただきます。
- (2)横浜マリタイムミュージアムの新名称候補3案から1つを選んでいただきます。
- (3)その他、シンボルマーク、新名称等に関する御意見をいただきます。(自由記入)

【募集方法】

横浜マリタイムミュージアム、西区MM21サービス拠点、みなとみらい21総合案内所に設置した投票箱を御利用いただくか、横浜市港湾局ホームページから御意見をお寄せいただきます。

(横浜市港湾局ホームページURL：<http://www.city.yokohama.jp/me/port/>)

3 シンボルマーク及び新名称の選定方法(裏面参照)

シンボルマーク及び新名称については、市民の皆様の御意見等を踏まえた上で、有識者や専門家等で構成される「横浜マリタイムミュージアム新名称等検討委員会」において決定します。今回、提案する3つの候補案についても同委員会において選定されたものです。

4 シンボルマーク及び新名称の発表

平成20年3月に発表予定。リニューアルオープンから使用開始します。

5 お問い合わせ先

横浜市港湾局振興事業課 電話：045-671-7188

1 日本丸メモリアルパーク配置図（意見募集の対象範囲）



2 シンボルマークおよび新名称の選定方法

◆委員名簿◆

◎印＝委員長

氏名	職名等
浅葉 克己	アートディレクター
大月 ヒロ子	グッドデザイン賞審査委員（商品デザイン部門）
◎ 加藤 祐三	横浜市立大学名誉教授、元横浜市立大学長
嶋田 昌子	横浜シティガイド協会 副会長
徳川 恒孝	(社)横浜港振興協会 会長
前田 正子	(財)横浜市国際交流協会 理事長
中根 忠	横浜市港湾局長

◆採用案決定のための投票方法◆

- 市民に意見募集した候補案3案に対し、委員は一人あたり10点を持ち点とし投票していただきます。
- 「市民枠」30点を設け、得票率に応じて得点を割り振るものとします。
(例：A案の得票率が40%の場合、30点×40%で12点とします。端数は四捨五入)
- 上記の市民枠及び委員投票の点数を合算し、原則として、最も得点が高い案を採用します。

◆投票箱及び投票用紙の設置場所

横浜マリタイムミュージアム：西区みなとみらい2-1-1

【開館時間】午前10時から午後5時まで

【休館日】毎週月曜日（祝日の場合は翌日）※館内整備のため2月4日から8日まで臨時休館です。

西区MM21サービス拠点：西区みなとみらい2-3 キーンズスクエア横浜2階

【開室時間】平日の午後3時から午後8時

【休室日】土曜、日曜、祝日 ※意見募集最終日の2月11日は祝日のため休室です。


みなとみらい21総合案内所：中区桜木町1-1-62（桜木町駅前）

【開室時間】午前9時から午後7時（無休）

1 意見募集の内容

①「日本丸メモリアルパーク」全体のシンボルマーク（次の3案の中から1つを選んでいただきます。）

【A案】




「イカリ」をモチーフとすることで、シンプル、モダンな「紋章」をデザインしました。

「イカリ」は、一般の人が一目見て船や港を連想できるモチーフです。その「イカリ」に「目」を加えることで、全体が人の顔に見えるようになっています。ユーモラスな表情が、「日本丸メモリアルパーク」に集う人々の笑顔の象徴になればと思います。

港を行き交う貨物に押される「焼印」のような印象も与えるデザインです。遠くから見ても視認性が高く、人の目を惹くシンボルマーク、市民の中に定着し、愛されるシンボルマークとなることを目指します。

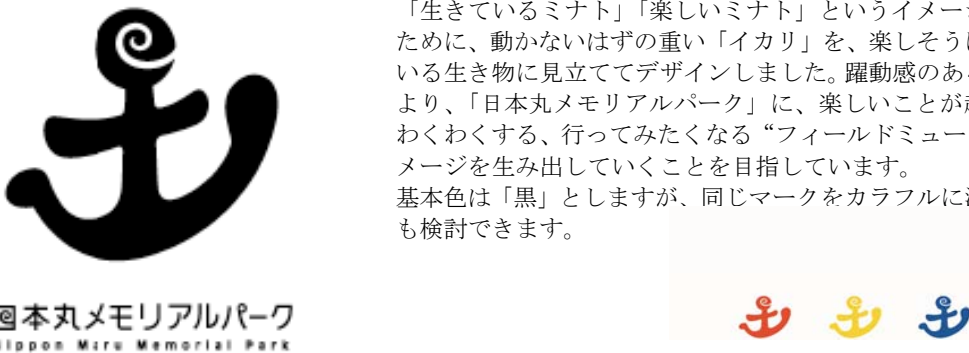
【B案】



帆船日本丸の帆が風を受け、青空に力強く張っているところを下から見上げたイメージでデザインしました。帆船日本丸を現地で見たとときの存在感、シンボル施設としての役割を踏まえつつ、「ほんものの横浜港を身近に体感できるフィールドミュージアム」にふさわしい、知的でスマートなイメージを与えるデザインとしています。

帆船日本丸のマストカラーである「オレンジ」と、海や青空を連想させる「青」を生かした爽やかなストライプにより、日本丸メモリアルパークの爽やかで心地よい環境を表現しました。

【C案】



「生きているミナト」「楽しいミナト」というイメージを表現するために、動かないはずの重い「イカリ」を、楽しそうに飛び跳ねている生き物に見立ててデザインしました。躍動感のあるデザインにより、「日本丸メモリアルパーク」に、楽しいことが起こる場所、わくわくする、行ってみたくなる“フィールドミュージアム”のイメージを生み出していくことを目指しています。

基本色は「黒」としますが、同じマークをカラフルに活用する展開も検討できます。

◆シンボルマーク候補案のデザインについて

シンボルマーク候補案は「船引 亜樹（ふなびき あき）」氏のデザイン。船引氏は、VIから映像製作まで幅広い分野で活躍中。特に博物館のVI開発実績が豊富で、柔軟かつクリエイティブの高いデザインに定評。今回、日本丸メモリアルパークリニューアルに関する設計業務において、VI設計担当として参加。

【経歴】1970年 大阪府生まれ、1993年 京都市立芸術大学卒業、1998年 ピコ・ピクチャーズ設立

【事業実績】2005年 九州国立博物館 教育普及ゾーン「あじっば」ロゴタイプ作成

2002年 林原自然科学博物館 東京分館「ダイノソアファクトリー」VI設計

②横浜マリタイムミュージアムの新名称について（次の3案の中から1つを選んでいただきます。）

【A案】

横浜港博物館

- 「横浜港」をテーマとする「博物館」であることを最も率直に訴求する案。
- 豊富な資料を見学することができる、本格的な博物館としてのスケール感を訴求するとともに、「横浜港」に関する多彩な資料を魅力ある体験価値として提供するイメージを訴求する。
- 読み方はくヨコハマコウハクブツカンとする。

【B案】

横浜みなと博物館

- 【A案】のコンセプト表現を“ひらがな”とすることで、より親しみやすく、柔らかな印象を与える案。「みなと」というコンセプトをより強調する効果も期待される。
- 子どもにとっても親しみやすく、ひらがなを効果的に活用したロゴタイプ開発も期待される。
- 横浜市民からは「みなと博物館」と略されて呼称されることも想定される。

【C案】

横浜ポートミュージアム

- 現在の名称から、「海事全般」を意味する「マリタイム」を、港を意味する「ポート」に変更する案。
- 一般的にはやや意味が分かりにくい「マリタイム」という表現を「ポート」に変更することで、施設のテーマや内容を分かりやすくする。
- 横浜市民からは「ポートミュージアム」と略されて呼称されることも想定される。

③その他、シンボルマーク、新名称等に関するご意見をいただきます。（自由記入）

※意見募集の際には、この資料と同じ内容を御覧いただいた上で、投票用紙又はホームページから御意見をいただくことになります。

日本丸メモリアルパークのシンボルマークと、 横浜マリタイムミュージアムの新名称が“決定”しました！

日本丸メモリアルパーク(1期地区)は、開港150周年を迎える平成21年度にリニューアルを予定しています。

このリニューアルにあわせ、同パークのシンボルマークと横浜マリタイムミュージアムの新名称を決定するため意見募集を行い、1,448件の回答をいただきました。

これらの意見募集の結果を踏まえ、「横浜マリタイムミュージアム新名称等検討委員会」での審査の結果、シンボルマークと新名称を次のとおり決定しました。

使用開始は原則として、リニューアルオープンからとなります。

日本丸メモリアルパークのシンボルマーク



日本丸メモリアルパーク
NIPPON MARU MEMORIAL PARK

横浜マリタイムミュージアムの新名称

横浜みなと博物館

《横浜マリタイムミュージアム新名称等検討委員会委員長のコメント》

意見募集につきましては、1,448件という非常に多くの方々からお声を聞かせていただき、ありがとうございました。

決定した日本丸メモリアルパークのシンボルマークは、“躍動感”があり、“このパークには船や博物館、緑地があり、いろいろなことができる、楽しいところ”をイメージさせ、“多くの方々に来て欲しい”というメッセージが強く伝わってきたことが評価されました。

また、横浜マリタイムミュージアムの新名称は、〈みなと〉とひらがなで表すことにより、やわらかく、やさしい印象を与えるとともに、港の賑わいや生活感が伝わる博物館であること、〈みなとみらい〉にあることが連想されるなどといった点が評価されました。

決定したシンボルマーク、新名称は、いずれも皆様に親しみを持っていただける、大変魅力的なものだと思います。より多くの方々が愛着を持ち、日本丸メモリアルパークに来ていただくことを期待します。

横浜マリタイムミュージアム新名称等検討委員会委員長 加藤 祐三

《検討委員会委員》

【委員長】	加藤 祐三	横浜市立大学名誉教授、元横浜市立大学長
	浅葉 克己	アートディレクター
	大月 ヒロ子	グッドデザイン賞審査委員 (商品デザイン部門)
	嶋田 昌子	横浜シティガイド協会 副会長
	徳川 恒孝	(社)横浜港振興協会 会長
	前田 正子	(財)横浜市国際交流協会 理事長
	中根 忠	横浜市港湾局長

1 意見募集の概要

(1) 募集期間

平成20年1月22日(火)から平成20年2月11日(月・祝)まで

(2) 募集方法

- ・横浜マリタイムミュージアム、西区MM21サービス拠点、みなとみらい21総合案内所に設置した投票箱への投函
- ・横浜市港湾局ホームページ

(3) 総回答数




1,448件

2 シンボルマーク及び新名称の選定方法

意見募集の結果を踏まえた上で、有識者や専門家等で構成される「横浜マリタイムミュージアム新名称等検討委員会」(平成20年2月25日開催)において決定しました。

- (1) 委員の持ち点は一人10点とし、投票。(10点×7名=計70点)
- (2) 市民枠30点を設け、意見募集の得票率に応じて得点を割り振り。
- (3) 市民枠及び委員投票の点数(100点満点)を合算し、最も得点が高い案を採用。

3 意見募集の結果

	日本丸メモリアルパークのシンボルマーク			横浜マリタイムミュージアムの新名称		
	A案  日本丸メモリアルパーク NIPPON MARU MEMORIAL PARK	B案  日本丸メモリアルパーク NIPPON MARU MEMORIAL PARK	C案  日本丸メモリアルパーク NIPPON MARU MEMORIAL PARK	A案 横浜港博物館	B案 横浜みなと博物館	C案 横浜ポートミュージアム
市民枠得点(30点) (得票数/得票率)	7点 (312票/21.6%)	12点 (586票/40.6%)	11点 (544票/37.7%)	4点 (197票/13.7%)	14点 (675票/47.1%)	12点 (562票/39.2%)
委員枠得点(70点)	16点	20点	34点	5点	48点	17点
総合得点(100点)	23点	32点	45点	9点	62点	29点

※総回答数と各項目の総投票数の数字が一致しないのは、一部質問に答えていない方がいるためです。

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位
横浜海事記者 各位

平成21年夏

開港150周年記念事業

「海フェスタ」の横浜での開催決定！

このたび国土交通省から、毎年、全国の主要港湾都市において開催されている「海フェスタ」の平成21年開催の決定通知を受けました。平成21年に開港150周年を迎える横浜では、同フェスタを開港150周年記念事業の一環として行うもので、これを人々の海への関心を高める絶好の機会と捉え、海への正しい理解を深める場として青少年の健全な育成を図り、人と人との交流の輪を広げていきます。

なお、開催概要については次のとおりです。

横浜での開催概要（案）

- 主催者 / 海フェスタよこはま実行委員会（仮称）
（国土交通省、横浜市、海事関係団体等で構成）
- 開催時期 / 平成21年7月20日の「海の日」を中心に開催
集中開催期間：平成21年7月18日（土）～26日（日）
- 開催場所 / 横浜港及び周辺地区
- 主な事業 / ・皇族のご臨席をいただいての記念式典、祝賀会（過去の通例）
・船舶の一般公開、物流施設見学会、シンポジウムや講演会、コンサートなどのイベント

「海フェスタ」とは

「海フェスタ」は、「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日」という「海の日」本来の意義を再認識し、3連休をより有効に活用し海に親しむ環境づくりを進めることを目的として開催されているものです。

このイベントは、昭和61年から主要港湾都市において「海の祭典」として行われており、平成15年から「海の日」が7月の第三月曜日となり3連休化されたことを契機として、同年から「海フェスタ」と名称を改めたものです。

過去の開催地

「海の日」が7月の第三月曜日となり、連休となった平成15年以降の「海フェスタ」の開催実績は次のとおりです。

平成15年（第1回） 神戸市
平成16年（第2回） 福岡市
平成17年（第3回） 沖縄県
平成18年（第4回） 富山県
平成19年（第5回） 名古屋市

平成20年（第6回） 大船渡市、釜石市、りくぜんたか た陸前高田市、おおつち すみ た大槌町、住田町

平成21年（第7回） 横浜市

昭和61年から平成14年まで開催されていた「海の祭典」では、平成元年に市政100周年・横浜開港130周年記念にあわせ、第4回「海の祭典」が横浜で開催されました。

本件内容については、国土交通省と同時発表です。

帆船の一般公開(イメージ)

